

新潟職能短大通信

電子情報技術科がスタート



今年度から電子技術科と情報技術科の二科を改変し、新たに電子情報技術科としてスタートしました。その第一期生として三十五名(定員三十名)が入学し元気に学んでいます。

この十年余りの間、インターネットや携帯電話の普及に見られるように、私たちの身近なところに情報ネットワークが急速に浸透してきました。

最近では、光通信網の拡がりによる高速化とともに、世界中の相手とテレビ電話やゲーム対戦ができる環境とそれに対応した機器も開発されてきました。

これからは、情報家電と呼ばれる様々な家電製品がネットワークに接続され、それぞれの製品の用途に合わせた通信を行うことにより、より便利な情報を利用できるユビキタス社会を迎えつつあります。

いつでもどこでも情報を共有し活用できる技術は今後ますます発達するものと思います。

新設された電子情報技術

科では、このような流れに対応するため、電子技術と情報技術を融合した領域の技術者を育成することを目指しています。

主な内容としては、電気電子、マイクロコンピュータ、組み込みソフトウェア、計測制御、情報通信の五つの要素を柱としています。二年間で、これらをすべて学ぶことは大変ですが、新しいものづくりに貢献できることを夢見て取り組んでいます。

入学早々、専門的な学科や実技の授業に入る前段階として「プログラミング自走車の製作」に取り組みしてもらいました。作業内容は、回路基板の半田付けから、自走車部分の組立、そして指示された通りに走行するための簡単なプログラムの作成や書き込みなどです。

この導入授業を通してハードウェアの製作からソフトウェアの作成に至る一連の工程について興味と理解が深まったのではないかと思います。

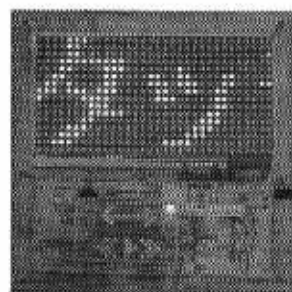
また電子情報技術科のイ

メージを持つてもらえるように昨年度「タッチパネルを人力に用いた多色電子掲示システム」の開発を行いました。開発のきっかけは、以前、駅などには備えられていたチョークで書き込む掲示板にあります。

携帯電話がない時代、駅の掲示板(黒板)は待ち合わせ伝言などを自由に書き込める手段として便利なものでした。そこで、黒板とチョークに代わって書き込みができる機能を持つ電子掲示板の製作を行うことにしました。

フルカラーLEDを使用し、見やすさを重視した設計としました。タッチパネルからの入力をうまく取り

込むソフトウェアの作成には苦労しました。しかし、最終的にはハードとソフトがマッチしたプログラムを完成し、考えていた機能を発揮することができました。



電子掲示システム

二年後にはさらに新しい作品ができることを期待するとともに電子情報の分野で活躍できる人材が育って欲しいものです。

また、新しい科ですので教員も一丸となつて取り組んでいきたいと思っています。

新潟職業能力
開発短期大学校
電子情報技術科
金藤 仁



導入授業